

# 建設業の労働災害発生状況（令和8年）

兵庫労働局安全課  
令和8年6月末速報値（労働者死傷病報告によるデータ）

表1 業種別（前年比較）

（ ）内は死亡（内数）

労働者死傷病報告（休業4日以上死傷災害）により作成（ ）内の数値は死亡者数（内数）を表す  
新型コロナウイルス感染症のり患者数を除く

兵庫労働局

業種	令和8年(1月～6月)		前年同期		前年比較	
	死傷者数 (人)	構成比 (%)	死傷者数 (人)	構成比 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)
全産業	2,159 (17)	100.0% (100.0%)	1,957 (10)	100.0% (100.0%)	202 (7)	10.3% (70.0%)
製造業	506 (2)	23.4% (11.8%)	457 (3)	23.4% (30.0%)	49 (-1)	10.7% (-33.3%)
建設業	151 (6)	7.0% (35.3%)	158 (3)	8.1% (30.0%)	-7 (3)	-4.4% (100.0%)
陸上貨物運送業	280 (2)	13.0% (11.8%)	250 (1)	12.8% (10.0%)	30 (1)	12.0% (100.0%)
農林業	20	0.9% ( )	20	1.0% ( )	( )	( - )
上記以外	1,202 (7)	55.7% (41.2%)	1,072 (3)	54.8% (17.6%)	130 (4)	12.1% (133.3%)

表2 事故の型別

表中の数字は人数、（ ）内は死亡（内数）

グラフ 事故の型別

建設工事・事故の型別	死傷者数	(土木工事)	(建築工事)	(その他の建設)
墜落・転落	51 (3)	9 (1)	31 (1)	11 (1)
転倒	22	6	13	3
飛来・落下	10	5	4	1
倒壊・崩壊	1 (1)	1 (1)		
激突され	6	2	4	
はさまれ・巻き込まれ	18 (1)	3	7 (1)	8
切れ・こすれ	14	4	7	3
高温・低温の物との接触	2			2
交通事故	4		1	3
上記以外	23 (1)	3	8 (1)	12
合計	151 (6)	33 (2)	75 (3)	43 (1)

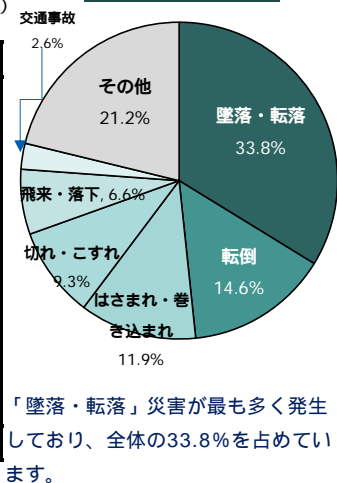


表3 災害程度別

表中の数字は人数、（ ）内は死亡（内数）

建設工事・災害程度別	4日以上 2週未満	2週以上 1か月未満	1か月以上 3か月未満	3か月以上 6か月未満	6か月以上	死亡	計
土木工事	7	9	10	5	0	2	33 (2)
建築工事	12	10	32	12	6	3	75 (3)
その他の建設	6	3	20	10	3	1	43 (1)
合計	25	22	62	27	9	6	151 (6)

休業1か月以上となる災害が全体の68.9%を占めています。

表4 年齢別

表中の数字は人数、（ ）内は死亡（内数）

建設工事・年齢別	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	計
土木工事	1	8 (1)	4	9 (1)	8	3	0	33 (2)
建築工事	1	13	11 (1)	9	18 (2)	17	6	75 (3)
その他の建設	1	8	6	9	10	8 (1)	1	43 (1)
合計	3 (0)	29 (1)	21 (1)	27 (1)	36 (2)	28 (1)	7 (0)	151 (6)

30歳未満の若い世代の割合が全体の21.2%、60歳以上は23.2%を占めています。

# 建設業における死亡災害発生状況（兵庫県内）

兵庫県労働局安全課

令和8年統計（速報値） 死亡災害報告によるデータ（把握順）

件数	災害発生		業種	事故の型	起因物	発生状況概要
	月	時間	小分類	分類項目	小分類	
1	1月	14時台	その他の建築 工事業	2メートル以上からの墜落・転落	足場	建築物の解体工事現場において、被災者を含めて5名が解体する建築物の西面に一側ブラケット足場を組み立てていたところ、組み立て中の足場の5層目で足場材料を下方より受取り、組み立てを行っていた被災者が約10m下の足場に墜落した。
2	3月	13時台	その他の建設 業	2メートル以上からの墜落・転落	足場	高さ約9mの戸建住宅の改修工事において、防水工事を請け負う業者の事業主と被災者が、屋上の空バケツを荷下ろしするため一側足場上で受け渡しをしていたところ、被災者が高さ約4mの足場3段目から墜落したものの。
3	4月	14時台	その他の建設 業	2メートル以上からの墜落・転落	作業床、歩み板	高速道路保全工事で排水管を取り替える作業において、高所作業車上で高さ約6メートルの箇所から作業床に乗り移ろうとした被災者が、高速道路上に墜落。直後に料金所に進入してきた2tトラックに轢かれたもの。
4	4月	10時台	木造家屋建築 工事業	その他	その他の起因物	社内運動会で「パン食い競争」に参加した被災者が、喉にパンを詰まらせ救急搬送されたが、数日後に死亡したものの。
5	5月	10時台	鉄骨・鉄筋コ ンクリート造 家屋建築工 事業	激突され	金属材料	建築現場で作業中に、長さ約10メートル、重さ約4トンの鉄骨が倒れて、作業員1人が下敷きになったもの。
6	6月	10時台	港湾海岸工 事業	崩壊、倒壊	移動式クレーン	浮きクレーンの吊り具であるグラブバケツを壁にもたれかけさせるように置いていた状態で、同バケツに取り付けていたワイヤーロープを外す作業をしていたところ、同バケツが崩れ、同バケツと壁面の間にいた被災者が押しつぶされたもの。